

# 地論 26

15

## 不動産業界とインターネット

真岡市



およそ10年前まで、消費者の不動産の探し方としては、土地、建物を買う場合でも、マンション、アパートを借りる場合でも、折込チラシや住宅情報誌を見て駅前、または街中にある不動産会社に行き、物件を紹介され、現地に案内してもらい、気に入れば契約するというのが一般的な流れだった。

しかし、ウィンドウズ95以来のインターネット

元禄時代の、松尾芭蕉門下の高弟の宝井其角は、もったいなくも將軍さまのおられる江戸は八百八町と威張ったところで、さして語るに足る風景も建物も、古くか

# 物件探しに大きな変化

ホームページ（HP）等 たり比較がしやすいインターネット検索が、同じ ようになったためだ。こものはひとつとしてない うに不動産を探せばよい の流れは最初首都圏で始 不動産物件を探す方法に のか？

まり、ここ5〜6年の間 最適であるため「物件探 土地、建物は一生のう 件が絞られてきたら、疑 問点や知りたいことを不 動産会社に問い合わせよ

主流となった。

物。慎重に選ばなければ

ではインターネットの 物件の詳細を知りたい ならない。

急速な普及に伴い、不動 時も、店舗を訪問したり 電話して聞いたりせず に、メールでの問い合わせ が多くなっている。

まず、アナログ時代に つまり、アナログ時代 と違って、徹底的に調べ 目している物件が高め なのか安いのか、ある 程度わかるようになる。

成約済とな も知ることができる。

りネット上 これで検討したい物件 を2〜3件に絞りこんだ いくが、高 ら、ツイッターやフェイ スブック、ブログ等で経 営者や営業スタッフがど んな感じの人か調べてか ら、不動産会社に連絡し、 アポイントを取り訪問す る。詳細な話や専門家で しかわからない点を聞いて、 具体的に買う買わな

う。連絡手段としては好 きな時間帯にメールで問 い合わせするのがいいだ ろう。このとき返信のメ ールに、住所や図面等が 記載してある資料を添付 してもらう。

住所がわかったら直接 現地に見に行く。ネット 上ではわからなかった周 辺環境等のリアルな情報

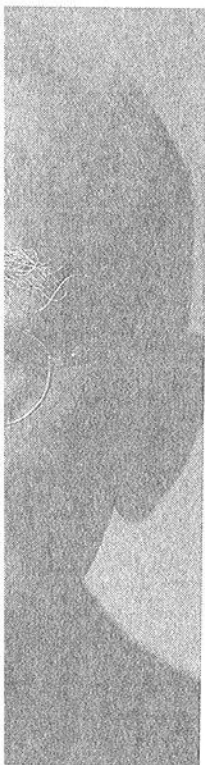
会社役員

あきやま やすお  
秋山 康雄

1961年生まれ。早稲田大政経学部卒。塾講師などを経て、不動産業ARKIYAMA代表取締役。真岡法人会青年部会長、県宅地建物取引業協会県支部理事などを務める。元真岡商工会議所青年部会長。

この流れはマンション、アパートを借りる賃賃の場合も一緒だ。

※「地論(じろん)26」は、県内26市町で活躍する人から意見や提言をいただきます。



はんどつ・かずとし 30年東京生まれ。東大文学部卒業後、文芸春秋に入社。月刊文芸春秋編集長や専務取締役を経て専に専念。「歴史探偵」と自称し、日本近代史を研究。「日本いちばん長い日」「漱石先生をな、もし」「昭和史」など著多数。